

ハンドボール県総合選手権

ハンドボールの第47回県総合選手権大会最終日は23日、東風平運動公園体育館で各部門の決勝までを行い、女子はシーコルズが再延長の末に那覇西クラブに競り勝ち、2連覇を果たした。男子は那覇西クラブが30-24で沖縄クラブを圧倒し、2年連続で優勝。マスターズの部もコザクラブOBが連覇した。

【マスターズ】		【男子】		【女子】	
コザクラブ	26	シーコルズ	34	那覇西クラブ	30
▽決勝	1313	▽決勝	29	▽準決勝	26
97	1311	再延長	1217	那覇西クラブ	1610
16	1113	延長	1617	沖縄クラブ	1310
沖縄教員	1113	延長	1412	マルユウ	139
			19	ハウシー	22
			浦添高		22
			那覇西クラブ		BIC

V2

男子 那覇西クラブ 女子 シーコルズ



女子決勝 シーコルズ-那覇西クラブ 12得点したシーコルズの新城明奈(23日、東風平運動公園体育館(山城博明撮影))



男子決勝 那覇西クラブ-沖縄クラブ 後半、力強いシュートを決める那覇西クラブの喜友名翔太

気迫で制す

最後まで気迫のぶつかり合いだった。再延長の死闘の末に那覇西クラブに競り勝ったのは、新城明奈率いるシーコルズだった。

前半はシュートミスが重なりリードを許してしまうが、後半からポストプレーなどが

ハイライト

決まって何とか追い付き、24-24で延長にこぎ着けた。しかし延長戦も同点に終わり、勝負は再延長にまで持ち込まれた。双方ともけが人が続出するなど、ぎりぎりの状態に追い込まれていた。勝負が決まったのは残り3

再延長、けが人続出

分、33-33で同点の場面だった。相手のパスミスに素早く反応した新城が親拍子貴へとボールをつなぐと、最後は自らミドルシュートを決めて試合を終わらせた。

昨季まで、琉球コロンなどが所属する日本ハンドボールリーグ・広島メイプルレッズの主将を務めた新城。日本代表の経験もあるが、度重なるけがに苦しみ引退した。帰郷後は、過去に所属していたシーコルズに再入団した。

チームを勝利へ導いた立役者は「4月の大会は九州派遣がある。常に県内で勝てるように仕上げていきたい」と頼もしく言った。(仲本文子)

喜友名と島袋 持ち味生かす

男子・那覇西クラブ

○男子決勝、前半は接戦だった。しかし、1点リードで迎えた後半からは、那覇西クラブの喜友名翔太と島袋雅誠の国王館大出の

2人組が躍動した。3点リードの場面で喜友名が180センチの高さを生かした強烈なミドルシュートを決め、チームを流れに乗せた。島袋も負けじとフレイントや機動力を生かしたトリッキーなシュートを連発し、得点を重ねた。

終わってみれば6点差の快勝。島袋は「みんなの足が止まったときに、自分が(点数を)取れば楽になると思ってた」と、試合を振り返った。喜友名は「大事なところでミスがあった。シュートの精度をもっと高めていきたい」と、気持ちを引き締めた。